

# はねっと 7

## 仙台市民活動サポートセンター通信 ぱれっと

“ぱれっと”には、仙台市民活動サポートセンター(サポセン)にいろいろな人が集まり、それぞれの色(個性)が発揮され、新しい出会いや活動が生まれていく。そんな願いがこめられています。



仙台をワクワクさせる人物をご紹介します

### マニアックな「好き」が 作用し合える楽しいまちに

ウラロジ仙台 編集長 /  
ライター / イラストレーター おそれさん  
恐山 らむねさん (28)

仙台市出身の恐山らむねさんは、Webメディア「ウラロジ仙台」の編集長です。仲間と共に独自の目線で見つけた、仙台の少しマニアックな「面白い」「気になる」ことを、時には自身が描いたイラストも織り交ぜ記事にしています。例えば、看板マニア・廃墟マニアによる注目スポットや、独特な内装のラブホテル、愛煙家のための喫煙スポットなど様々です。それぞれ違った「好き」の視点が集まることでユーモアのある記事が生まれています。「まずは自分たちが、まちを面白がることを大切にしたい。どんなにマニアックな切り口でも、自分の“好き”を発信する若者が増えてくれたら、まちはもっと楽しくなる」と話します。大好きなイラストを描く仕事を夢見て、大学ではグラフィックデザインを学んだ恐山さん。卒業後、アルバイトとして入社した編集プロダクションで主に関わるようになったのはライター業務でした。未経験のことに戸惑い、失敗も繰り返しながら、取材や記事の書き方などのスキルを習得。イラストを描く以外の世界が広がっていき、いつしか「自分の好きなテーマで書いた記事に、イラストをつけられたら最高かも」というビジョンが浮かぶようになりました。悩みながらも会社を退職し、自分の「スキル」と「好きなこと」で次のステップへ歩み始めた恐山さん。仙台の飲食店などを紹介する地域密着型Webマガジン「せんだいマチプラ」の執筆に携わるようになり、2020年2月には、同サイト運営会社協力のもと姉妹サイト「ウラロジ仙台」を設立しました。「自信がなくても、好きなことや関心のあるジャンルについて思う存分発信してほしい」と、記事を書いた経験がない仲間のフォローにも力を入れています。「私も最初からいろんなことができたわけじゃない。だからこそ“私には何もできない”と思い込んでいる人の背中を押せる存在になれたら」と話します。

恐山さんの note から  
作品や日々のブログなどご覧いただけます



ウラロジ仙台

ウラロジ仙台

ウラロジ仙台

ウラロジ仙台

ウラロジ仙台

ウラロジ仙台

ウラロジ仙台

ウラロジ仙台

ウラロジ仙台

ウラロジ仙台

ウラロジ仙台

ウラロジ仙台

ウラロジ仙台

ウラロジ仙台

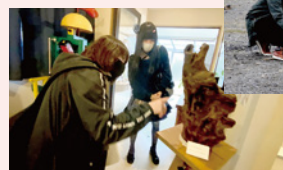
ウラロジ仙台

ウラロジ仙台



今まで知られることのなかった宮城・仙台のマニアックな魅力を発掘し、発信しているWebメディアです。既存の店や場所を紹介するだけでなく、「仙台にいる人と面白いことがしたい」という思いから様々な企画も実施し、記事にまとめて発信してきました。本物のタコで風揚げを企画した際には、東北大学のロケット製作・打上サークル協力のもと、河川敷でタコを打ち上げました。2021年7月からは、記事の更新体制などを整えリニューアル。編集部メンバーによる「宮城マスター検定」への挑戦や、仙台で原宿系ファッションを着るきっかけづくりなど、多様な企画を予定しています。

タコ打ち上げ後は、タコ飯に▶  
しておいしく食べました。



◀編集部メンバーで秋保の美術館  
を視察している時の様子。





## 市民活動突撃レポート！

### 新しいことに挑戦する人を応援したい

おおがね あきこ  
カード織りあかつき会 代表 大金 暁子さん

「高齢者の生きがいづくりを応援したい」と話すのは、「カード織りあかつき会」代表の大金暁子さんです。サポセンで月4回、カード織り教室を開催しています。カード織りは世界中の地域で行われてきた古くからある織物技術です。カード織りに必要なのは、カードと糸だけ。穴のあいた四角いカードに糸を通し、前後に回転させて織り上げます。「同じデザインの作品でも、糸の色や織る人によって、違うものに見えるのが不思議なんです。この楽しさを多くの人と分かち合いたい」と話します。

76歳の大金さん。独学で機織りはたおを続けてきましたが、15年前から、少ない道具でもできるカード織りにも取り組み始めました。団体立ち上げは2020年2月。団体名は、大金暁子さんの名前の一文字「暁（あかつき）」から命名しました。夜が明けて明るくなるよう



に、できないと思っていたことが、できた喜びで明るい気持ち

になってほしいという願いも込められています。教室で使うカードは大金さんのオリジナル。手にすっぽりと収まる大きさが扱いやすく、初心者の方の「できた」を後押ししてくれます。「年を取ると新しいことを覚えるのが難しくなる。その気持ちが変わるから、何回でも聞いて欲しい」と大金さん。何も無いところから作っていく過程や、織り上がった時の喜びを仲間と共有しています。「何か目標を持った方が力がわいてくる。色々な作品を作ってグループ展をしよう」とメンバーを励まします。

#### カード織りあかつき会

電話番号 080-1688-7891 (大金)

Mail 803wasi@gmail.com

申込み方法 事前予約制

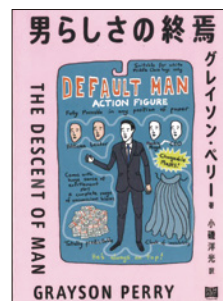


## サポセン蔵書から活動に役立つ書籍をご紹介します

### 男らしさの終焉

ジェンダーの意識によって抑圧されているのは女性だけではなく、「男らしさ」が求められ、自分らしく生きられていない男性もたくさんいます。それに気づいた筆者は、「男らしさ」が現代社会ではどう作用し、多くの男性の生き方に弊害をもたらしているかを、自身の体験を挙げながら解説しています。本書を読んで、前時代的な「男らしさ」に代わる、多様で柔軟な未来の男性のあり方とはどんなものであるべきかを考えてみませんか。

著者 グレイソン・ペリー 訳者 小磯洋光 発行所 株式会社フィルムアート社



## つながる つなげる サポセン

### 仙台市民活動サポートセンターとは

様々な分野の市民活動、ボランティア活動の支援施設です。「自分たちのまちをもっと良くしたい」。そんな市民の自発的な活動を応援します。お気軽にご相談ください。

今月の休館日 7月14日(水)、28日(水)

開館時間 月曜日～土曜日 9:00-22:00

日曜日・祝日 9:00-18:00

休館日 毎月第2・第4水曜日(祝日の場合は翌日木曜日) 年末年始

〒980-0811 仙台市青葉区一番町四丁目1-3

TEL 022-212-3010 FAX 022-268-4042

[ホームページ] <https://sapo-sen.jp>

[サポセンブログ@仙台] <https://blog.canpan.info/fukkou/>

「ばれっと」バックナンバーは  
ホームページからダウンロードできます。



「ばれっと」は、市民ライターと協働で制作しています。ほぼ毎日更新している「サポセンブログ@仙台」で、取材の様子やこぼれ話を配信しています。

#### 編集・発行

仙台市民活動サポートセンター

(指定管理者：特定非営利活動法人  
せんだいみやぎNPOセンター)

発行日 2021年7月1日

デザイン PEACE Inc.

[ Twitter ]

@SCSC4CA

[ YouTube ]

サポセンちゃんねる

